

(共同リリース)

2026年2月2日
国立大学法人鹿児島大学
日本エアコミューター株式会社
日本航空株式会社

NEWS RELEASE

鹿大生が自らの手で飛行機を操縦する2週間

鹿児島大学×JAL グループ 操縦体験プログラム「SKYCAMP」6期 始動

～第8回キャリアデザインプログラムアワード「優秀賞」を受賞した教育モデル～

報道機関 各位

国立大学法人鹿児島大学(学長:井戸 章雄)、日本エアコミューター株式会社(代表取締役社長:増村 浩二、以下「JAC」)、日本航空株式会社(代表取締役社長:鳥取 三津子氏、以下「JAL」)は、2026年2月11日(水)より、6期目となる操縦飛行体験「SKYCAMP」を開講いたします。本プログラムは、学生へのキャリア形成支援における質の高さが評価され、本年度、「第8回キャリアデザインプログラムアワード」にて優秀賞を受賞いたしました。文系・理系を問わず選抜された学生たちは、約2週間の合宿を伴う空飛ぶインターンシップ「SKYCAMP」において、地域航空の理解とともに、最終的には自らの操縦で鹿児島～長崎間(予定)のフライトに挑みます。※本プログラムは、3者による連携協力協定「地域密着型パイロット人財創出プログラム」の一環として行うインターンシップ(タイプ3)です。

■ 「SKYCAMP」が評価される3つの理由

1. シミュレーターを超えた「実機操縦」のリアリティ 学生たちは株式会社 Japan General Aviation Service(以下、JGAS)の協力のもと、現役操縦士さながらに飛行計画を策定。学生は、教官同乗のうえで実際に小型飛行機の操縦桿を握り、実機飛行を体験します。「空」という究極の現場が、仲間を想う心を育み、高いレベルでの判断力と責任感そして、未知なる可能性を引き出します。
2. 日本トップクラスのキャリア教育実績 全国のインターンシッププログラムの中から、特に優れた取り組みを表彰する「キャリアデザインプログラムアワード」にて優秀賞を受賞。単なる職業体験に留まらず、離島を抱える鹿児島の地域課題解決と、学生の自己成長を高度に融合させた教育デザインが評価されました。
3. 「夢」が「目標」に変わる、产学連携の仕組み 2020年の発足以来、本プログラムからこれまでに9名のJACパイロット候補生が誕生しました。昨年2月にはついに1期生(2022年3月卒生)がパイロット訓練生としてJACに入社するなど、「鹿児島大学からエアラインパイロットを目指せる」という確かなルートを確立しています。

■ 実施概要

プログラム名称：操縦飛行体験「SKYCAMP」プログラム

参加学生：鹿児島大学 学部生 8名(うち女子 4名)

(法文学部 4名、理学部 1名、工学部 2名、水産学部 1名)

<予定スケジュール>

キックオフ/開講式：2月11日（水）9:30～16:00 [場所：JAC]

事前座学：2月13日（金）、14日（土）10:00～16:00 [場所：大学]

フライト実習（職業体験）：2月17日（月）～2月27日（金） [場所：JGAS・JAC]

修了式：2月28日（土）15:00～16:30 [場所：JAC]



(第Ⅱ期事業スタートにむけて共同宣言式を開催 昨年3月)



(小型飛行機でのフライト実習 過去の様子)



(定期便コックピット同乗体験 過去の様子)



(シミュレーターでの実習 過去の様子)

※天候や運航状況、プログラムの進捗状況によりスケジュールが変動するため、個別取材については事前にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

本事業について

鹿児島大学 キャリア形成支援センター

担当:西山／中釜 TEL:099-285-7053

事業第Ⅰ期
(2020年度～2024年度)
成果報告書



SKYCAMP 実施期間の取材について

日本エアコミューター株式会社 総務部 TEL:0995-58-2151